資産運用業大会
片山金融担当大臣 ビデオメッセージ
（令和８年 10 月 26 日（月））

はじめに

財務大臣兼金融担当大臣の片山さつきです。本日は資産運用業大会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

「Japan Weeks 2026」において、本年４月に発足された「資産運用業協会」の主催により、今回も本大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

我が国の金融市場の魅力を国内外へ積極的に発信していくことは大変重要であり、Japan Weeks 期間中、本大会をはじめ、様々なイベントの開催に、皆様方の多大なご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

日本経済は今、「成長の好循環」の道に踏み出せるかどうかの分岐点に立っています。高市内閣では、「強い経済」と「財政の持続可能性」の一体的な実現を掲げ、戦略分野を中心に、官民が連携して積極的な投資を行うことで、日本の課題を解決し、先端産業を開花させ、日本経済を力強く成長させていくこととしております。

資産運用立国のアップグレード

こうした成長戦略の実現には金融の力が不可欠です。本年７月に「日本成長戦略」の閣議決定とあわせ、「成長投資を促進するための金融戦略」を策定いたしました。

これに基づき、「資産運用立国」の取組を更に推進・発展させ、成長投資を強力に促進するとともに、日本企業の事業再構築・再編を支える資金の好循環を創出し、日本経済の成長と国民の豊かさの向上につなげてまいります。

資産運用業の発展に向けた期待

資産運用業は、まさに、こうした好循環を創り出す「要」であります。

・ 成長性のある優れた企業を見極めて投資をする、そして、

・ 投資先企業の果敢な成長投資を後押しするようエンゲージメントしていく

資産運用会社がこうした能力を一層強化することで、国民が、成長の果実を最大限享受できるようになることを期待しています。

金融庁においても、企業の持続的成長と顧客・受益者の中長期的な投資リターンの拡大に向けて、資産運用会社等においてスチュワードシップ・コードの趣旨に沿った企業との対話が行われているかなどのエンゲージメント活動の状況をフォローアップしてまいります。

資産運用業界への期待が一層高まる中で、今後も重要な役割を果たし続けていくためには、決して、投資家からの信頼を失うようなことがあってはなりません。業務が拡大し、多様化する中、各社において適切な業務運営体制が整備できているか今一度確認し、受託者責任を全うするためのガバナンスを確実に構築していただきたいと思います。資産運用業協会におかれては、業界全体が、高い規律と専門性に裏付けられたプロフェッショナルとして、国内外の投資家や国民から信頼され、健全に発展していくよう、適切な自主規制機能の発揮をお願いいたします。

その上で、資産運用サービスの更なる高度化に向け、各社で切磋琢磨し、それぞれの強みを発揮しながら、投資家の期待に応えていっていただきたいと思います。資産運用業協会におかれては、会員各社の声を踏まえ、業界としての課題解決や政府への政策提言に積極的に

取り組み、資産運用業界の健全な発展、プレゼンス向上に向け、強いリーダーシップを発揮されることを期待しております。

政府としても、業界の皆様の前向きな取組を全面的にサポートするとともに、資産運用立国の実現、「強い経済」の実現に向けて、引き続き皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

おわりに

最後になりましたが、本日ご列席の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念いたしますとともに、資産運用業界の益々の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。